



松井まちづくり協議会設立5周年記念 平成30年度定期総会・夏季セミナー・夏季交流懇談会を開催

同

6月30日(土)、5年目を迎えた平成30年度松井まちづくり協議会定期総会、夏季セミナー及び夏季交流懇談会が松井まちづくりセンターホールにおいて開催されました。

この定期総会、夏季セミナー及び夏季交流懇談会は、みんなで参加する地域づくり、絆づくりを活動目的とした協議会活動の原点として、協議会発足当初から組み合わせて開催されています。

午後1時からの総会と、それに続き開催されたセミナーや懇談会に151名の人たちが参加しました。

平成30年度定期総会

総会では、安田敏男会長から、「構成団体のほか、公募による一般市民3名の方々も構成員として名を連ねているところに松井まちづくり協議会の特色があります。

多種多様な構成員が5つの部会に分かれて事業を展開しています。松井村の文化歴史遺産・自然環境遺産については、本年度も9件の

遺産認定と標識設置を行い、合計25件になりました。当事業にご協力をいただいた方々に本総会の席上にて感謝状の贈呈をさせていただきます。また、福祉分野では、構成団体の



総会で挨拶する安田会長

一つである松井地区社会福祉協議会の「ちょっと相談」、「住民懇談会」などが顕著な活動です。地域の支え合いであり、構成団体のみならず、健康福祉部会としての活動を活発にしていきます。」との基調報告を兼ねた挨拶がありました。

議事においては、平成29年度事業報告、会計報告、監査報告、役員選任報告が全会一致で承認され、平成30年度活動方針案、予算案は質疑応答を経て、全会一致で可決されました。

引き続き行われた感謝状贈呈では、文化歴史遺産・自然環境遺産認定事業にご協力をいただいた方々、新倉栄一さん(和田子育地蔵尊)、中村隆久さん(松郷開拓の碑)、越阪部



定期総会の模様

国昭さん(名産狭山茶畑)、荒田秀男さん(名産狭山茶畑)、鈴木信子さん(大くぬぎ)、松永隆樹さん(長源寺)に対して感謝状が贈呈されました。

当日参席いただけなかった方々には後日贈呈を行うことが紹介されました。

本総会で選任された役員は次の通りです。(敬称略)



感謝状を受ける新倉さん

顧問	森田 道昭	副会長	山崎 壽男
顧問	鈴木 公子	事務局長	上田 之雄
会長	安田 敏男	広報委員長	齋藤 徹
副会長	中村 晴一	会計	赤坂 悦
副会長	石井 福雄	会計	久保田千恵子
副会長	森田 進二郎	監事	齋藤 久夫
副会長	池田 一美	監事	國谷 征治

松井まちづくり協議会
定期総会・夏季セミナー・交流懇親会



夏季交流懇談会の集合写真

平成30年度夏季セミナー



講義する危機管理課職員

総会に引き続き、平成30年度夏季セミナーが開催されました。

今年度は、所沢市危機管理課の小林宏行課長、神尾久主査、酒井健佑主任を招いて、「知って得する防災の知恵」と題した講義が行われました。

発生が想定される立川断層帯地震や東京湾北部地震の規模や被害想定、災害時に消防等（公助）が人命救出できた割合は低く、発災当初は自助・共助が災害対策の主軸となること、この中で、特に重要となるわが身を守る「自助」では、身近で取り組みやすい防災対策の具体例、ローリング（消費しながら）ストック（蓄える）の方法等を講義していただきました。

終了後、参加者からは「わかりやすかった」、「楽しく聴講できた」等の声が聞かれました。



講義に聞き入る皆さん



知って得する防災の知恵



美味しい料理、美酒そして情報交換



平成30年度夏季交流懇談会

夏季セミナーの後、平成30年度夏季交流懇談会が開催されました。

大館勉副市長、川上一人市民部長、西山淳次、水村篤弘、岡田静佳の各県議会議員、越阪部征衛、中村太、吉村健一の各市議会議員、本橋栄三所沢市社会福祉協議会長、新倉栄一表彰者などの来賓、田中俊一松井小学校長、相川史生安松小学校長、山下豊牛沼小学校長、柴崎信明東中学校長、宮井俊充安松中学校長、竹内もみ松井東地域包括支援センター長、佐藤清子同西地域包括支援センター長などの関係機関代表、30の構成団体代表者、松井地区自治連合会加入自治会・町内会、一般参加者、松井まちづくりセンター職員など総勢136名の出席を得て、盛大に開催されました。

上田事務局長の司会で、安田会長、各来賓の挨拶及び紹介の後、鈴木顧問の乾杯の音頭で情報の交換が始まりました。

交流懇談会は、松井地区の自治力・交流力向上事業の一環で、地域で活躍する各団体が交流し、「絆を紡ぎ合い」ながら、「松井をどうしたら良い地区にできるか」などについて意見交換し、情報の共有を行う場として開催されています。

参加者の皆さんは、設立総会以降の協議会活動の総括や日頃会う機会が少ない構成団体や関係機関の方たちと活発な情報交換を行っていました。



鈴木顧問の乾杯の音頭

まつい三世代まつり



スタッフ全員で集合写真



開場前の長蛇の列



さあいよいよ開場です



ビーズストラップコーナー



竹トンボコーナー



紙相撲コーナー

血管年齢測定コーナーなど、本当に盛りだくさん。
今回はじめてのお琴コーナーでは、音感



東中学校生徒のみなさんもケン玉、ベーゴマにチャレンジ
ありませんと言いつつ独特の楽譜をみてスラ
スラと奏でてしまった女の子もいました。

その他、竹トンボ、さかなつり、紙相撲、お茶
席、お手玉あそび、輪投げなどのコーナーも盛況
でした。

この三世代まりのほか、夏季交流懇談会、
松井地区文化祭、松井ウォークラリー大会、
松井地区新年祝賀会、松井地区成人のつどい
など、地域の大勢の皆さんが参加して創り上げる
事業の推進は
地域の文化を引き
継ぎ、絆をいっそ
う強めていくこと
につながります。

松井まちづくり協
議会は、これらの
事業を今後も積極
的に実施・応援して
いきます。



ところんも来てくれました



お茶席



スーパーボールすくいコーナー



お琴体験コーナー



ふくろうお手玉コーナー



七夕かざりコーナー

館内では、あちこちに
三世代が一緒に楽しむ
コーナーが設けられま
した。

ふくろうお手玉やいち
ごのストラップづくり、寄
り目になりながらビーズ
に糸を通して作っていた
ビーズストラップ、願い
事を短冊に書いた七夕
かざり、中学生のみんな
も一緒にチャレンジした
ケン玉やベーゴマ、や
っぱり人気の高いスー
パーボールすくい、出
てくる数値に一喜一憂の

松井地区 文化歴史遺産・自然環境遺産認定標識設置

4月16日及び17日の両日、松井まちづくり協議会松井地区文化歴史遺産・自然環境遺産認定委員会（森田道昭委員長）は、遺産認定標識の設置作業を行いました。

平成29年度に遺産認定標識設置が予定されていた文化歴史遺産6件、自然環境遺産2件3ヶ所を森田道昭認定委員長のほか、安田敏男協議会会長（認定委員）など認定委員が、まちづくりセンター職員とともに行いました。

平成27年度から始められた遺産認定標識設置は、文化歴史遺産17件、自然環境遺産6件10ヶ所となりました。

遺産認定委員会では、平成30年度も引き続き遺産認定標識の設置を進めていく予定です。



関東一の木造大閻魔像

認定標識設置場所

- ① 国立所沢病院跡（現市民医療センター）
- ② 所沢飛行場駅跡（松井村駅跡・旭町）
- ③ 松郷開拓の碑（松郷）
- ④ 和田子育地蔵尊（下安松）
- ⑤ 北条氏照の薬師三尊仏像（長源寺）
- ⑥ 関東一の木造大閻魔像（牛沼・長栄寺）
- ⑦ 大くぬぎ（西新井町）
- ⑧ 名産狭山茶畑（牛沼・2か所）

協議会啓発事業 啓発ボールペンを作りました

松井まちづくり協議会は「地域のことは地域で考え地域で実行する」理念のもと、様々な事業を展開しています。

協議会では、これまでの事業活動や今後予定される事業活動が、更に広く深く地域の皆さんに理解されて、共に働いていただけるよう、啓発活動の一環として「啓発ボールペン」を作りました。

協議会が主催、共催する行事等において参加者に配布することにしてあります。

滑らかな書き心地のボールペンです。

行事等に参加の際は是非上手に取ってみてください。



啓発ボールペン

松井まちづくり協議会これからの活動

平成30年度に松井まちづくり協議会が主催、共催する主な事業の予定は次の通りです。

平成30年

- | | |
|-----------|-----------------|
| 10月 7日（日） | 松井地区スポーツフェスティバル |
| 10月20日（土） | 松井地区文化祭 |
| 10月21日（日） | 松井地区文化祭 |
| 12月 1日（土） | 松井子ども音楽祭 |

平成31年

- | | |
|------------|---------------|
| 1月 8日（火） | 松井地区新年祝賀会 |
| 1月14日（月・祝） | 所沢市松井地区成人のつどい |
| 3月24日（日） | 松井ウォークラリー大会 |



スポーツフェスティバル



新年祝賀会

昨年度各種事業の様子

成人のつどい ウォークラリー大会



編集後記

広げよう協議会の輪、まつの輪 !

経験したことのない酷暑や豪雨を経験させられた今夏。被災地の皆さんに心からお見舞いを申し上げます。地域のここの防災訓練の計画段階では、地震のみならず水害についても考慮すべきとの意見が多くあった。近年の天災は人災の延長線上にあるとの説がある。いずれにせよ発災後の絆は大切なもの。本紙も常日頃から地域の皆さんの絆づくりに更に邁進していきたい。